

以上述べ來つた教材はきびがらを棒狀のまゝ用

ふ。

ひて構成する教材の例であるが、この種の教材は考へれば甚だ數多くあるであらうが、茲にはこの位で止めて置かう。

又以上述べた教材の中終りの方の數教材は幼稚園で課するとしては困難であるかもしれないが、しかも少しく形を變へれば容易に出來得やうと思

以上述べた教材は何れもきびがらの棒と皮とを併用（表面に見へる場所に）したもののみである棒ばかりで組立てる方がよい教材もあるけれどもきびがら細工としての面白味は使用したものに多いやうであるから、その種のものを示したのである。（この項完）

田舎の幼兒を集めて

幕張農村幼稚園 山村 きよ

一

新任、しかも始めて出來る、そして農村の子供をこの三つの事に大きな理想を描いて赴任したのはこの四月でした。所は幕張といふ海岸です。豫

め先生からお話は伺つて居りましたが、いよいよ實際の任に當る事になつて千葉縣女子師範學校長平田先生及び附屬小學校主事土屋先生からこの幼稚園設立についての趣意を伺ひました時にはほん

とにびつくりしました。無経験な私にはあまりに責任が重いのには驚かされたのです。なせならば午前中は小學校の低學年を、午後からは幼兒の保育に當らねばならなかつたのです。卒業當時頭に描いた空想はすつかり裏ぎられたわけです。そして不安な心を持ちながらも又新たな希望を持つて開園の日を待つて居りました。色々の都合で漸く五月一日から開園されました。農村といふことを頭において少しは豫想してまゐりましたが、今まで都會で生活し短い期間とはいへ、お茶の水の空氣を吸つて來た私には一つとして物めづらしく感じないものはありませんでした。先づ第一に村の様子、百姓等の生活、毎日登園する子供の言語動作等面白くて仕方がありませんでした。其の上幼稚園とは名のみで園舎はなし、經費はなし、保母二人に百五名の園兒でどうしやうかと、とほうに暮れてしまわれました。先生方や同窓の人達に不平の手

紙をかさねたのもこの時でした。勿論今までとは別の形式をとらねばなりませんでした。もつとも始の内は千葉の本園からも出張して戴きました。こんな風で子供にも自然と無理が多かつた事と思つて居りましたが、私も夢中で兎に角、子供の來てゐる三時間餘の間を無事に面白く遊べる様つとめながら不安な日を續けました。しかし幸に子供のお氣に入りの場所となつて毎日の出席は五十人を越えました。ほんとに私も不安ながら一種の光明を得て子供にはげまされつゝ一月たち二月たち今日までどうやら無事に過してまゐりました。お蔭様でだんく町の様子のみ込んで子供ともなれ、今ではかへつて毎日起る滑稽な出來事に興味を持ちだんく暗から逃れ去られる様な感じがして居ります。こんな風で幼稚園ともつかず託兒所ともつかない、毛色のかわつた幼稚園の生れた事をお知らせすると、同時に御経験多い皆様の御力

を拜借したいと考へて居ります。

二、目 的

この農村幼児教育の必要については平田先生が日本教育十月號(十三年度)にくわしくのべて居られました。そしてその翌年五月になつて實際にこの幼稚園となつて現はれたのです。今私は先生から伺つて居ります大體をおつたへ申し上げます都會には不十分ながら幼児教育の機關は設けられてあり、又現在は幼児教育の聲も高まり色々の研究も發表されてありますが、農村だけは相變らず忘れられて一向發展の様子も見えない様です。しかし農村こそ其の必要があるので。無智な保護者又労働に忙しい一家單調な環境に置かれてゐる幼児こそ大いに教化が必要なのです。都會の子供はたゞ自然に恵まれないで身體の發育上に影響を及ぼすといふ缺陷はありますが、それも現在では各都市で色々と計劃が立てられつゝあるので

から、田舎の子供と比べてはるかに幸福といはねばなりません。しかし此農村では從來のブルジョアの幼稚園を設立する事は不可能な事です。最も容易に又方々へ行はれる様に小學校の組織を利用して農業労働に忙しい父母より幼児を預り、心身の發達に適應した教養をなすと同時に農村母姉の兒童教養に關する知識をひろめたいといふので此幼稚園が出來たのです。そして私と今年千葉の女子師範を出られた土屋まさ子さんと二人がこの任に當り午前中は小學校の一二年を、午後からこの仕事にかゝつてゐるのでございますが理論と實際は一致せず、まして私の様な無經驗な者には果して平田先生の御考へになつて居られる様なよい結果が表はれるかどうか大きな疑問でございます。

三、設備及び設置

五月開園當時から二月程の間は設備と云つて書

き立てる程の物は一つもありませんでした。皆小學校の物を利用して居りました。

- 一、園舎II小學校一年の教室二室を使用す。
 - 二、遊園II小學校運動場の一部分を使用す。
 - 三、保育具1.オルガン一臺、2.手技材料、3.砂遊び道具(シヤクシ(三十本)
(貝殻等))
- ところが二學期になりまして大分揃ひ大いにたすかりました。

- 一、ブランコ四臺
- 二、移動式スベリ臺、二臺
- 三、子供用黑板(二尺巾一間のもの四枚)
- 四、まゝごと道具並に毬(六インチ四個、七インチ二個)
- 五、紅白の旗五十本
- 六、三寸巾五寸の煉瓦型積木三十個及び小さな木片小ざるに三ばい。
- 七、繪本三十冊、(子供の國の月おくれを集めて居ります)

五、經 濟

- 一、幼稚園に當られた費用は少しもありません。
- 二、有志の寄附は受けて居ります。
- 三、子供からきまつた月謝は徴收致しません、(但し二月に一度づゝ材料費又はおやつ代として三十錢位づゝ集めます)

六、保護者及び家庭

- 農夫——六七 商人——一〇
- 船乗——一一 澱粉製造業者——三
- 工夫——三 會社員(東京方面へ)——四
- 漁師——三 無職——四
- 海岸ですけれども漁師の專業といふのは少して皆農をなすかたわら船に乘つたり又色々の副業をして居る者が多い様に思ひます。在園兒の五分の一は町でも上流以上で、他は中流が多く下といふのはごく少い様です。しかし都會と違つて總てにおいて私達の想像できない程質素な生活振りに見

受けて居ります。大抵の人が一日の中を殆んど働きつくしておられますから従つて子供の教育はおるか、ある時には子供の事さへも忘れられてゐる様な時も見受けます。夫婦共稼ぎで朝から晩まで仕事にかゝり其の間子供は皆祖父母が預つて世話してゐる者もあれば又自分達の仕事をやる場所へ一語につれて行つて、たゞ子供の爲たいほうだいの遊びをさせ、いたづらが目にとまれば其の叱責は甚しいので、それが子供の性格に影響を及ぼしてゐる事は申すまでもありません。しかしそれらの人達も子供がにくらしくしてゐるのではなく、無知なのと、勞働に忙しいので子供をかへり見る暇はなく田舎、しかも海岸ですから大きな聲して叱責する事や少しぐらひの體罰などは習慣となつてゐるのです。ですから時によるとなめる様にして可愛がり又それが物質となつて與へられるのです。子供の頭には始終この數多い叱責……其の反

對に物質を以つて得る喜びといふ事が深い／＼印象を與へてゐる事と思ひます。私達はいつの間にか一人で子供達からこれらの事を教へられております。この他に震災後東京から移轉した者、又は町の豪家で相當教育ある家庭に育つてゐる者が少しばかりまちつてゐるのでかへつてむづかしい様に考へて居ります。實際これらの家庭に立ち入つて母親の教育否……祖母さんの教育からやりなほさねばよい結果の表はれ様筈がないと思つて居りますがまだ／＼前途遼遠の事だと思つて居ります。

一年の計は元旦にあり